

# Communication Element

～韓国語 ハングル・日本語 ひらがなのファミリータイプフェイス及びタイポグラフィ～  
The Research of Korean HANGUL & Japanese HIRAGANA Family Typeface and Typography.

柳 智賢  
Ryu, Ji-Hyun

韓国と日本は類似している部分が多く見受けられる。それは、歴史上、中国大陆から伝承された多くの共通文化が基盤となっているからだろう。その中でも韓国と日本はそれぞれ漢字文化という共通環境から文化や習慣の特徴を生かした独自の言語体系を形成してきた。

こうした歴史的背景に基づき、本来個別の性格を有するハングルとひらがなに共通エレメントを創造し、ハングルとひらがなをファミリータイプフェイスとして開発を試みた。そして、そのタイプフェイスを実証のためのタイポグラフィという形で広告・広報媒体（ポスター、新聞広告、雑誌広告）への応用として展開した。

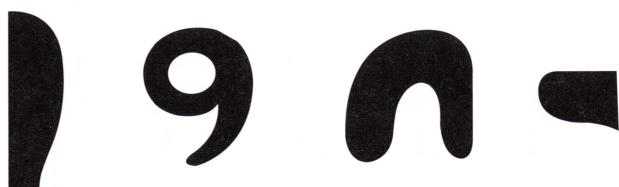
## タイプフェイス typeface

記録や表示・印刷などの文字組に使用するため、統一的なコンセプトに基づいて作成された文字、記号等の一群のデザイン・書体のこと。

タイプフェイスには大別すると、読みやすくバランスが優れた“読む”を目的とするボディタイプ（教科書、本、新聞等 主に明朝体、ゴナ体系など）と表現の自由やインパクトを重視した“見出し”であるディスプレイタイプ（看板、ポスター、雑誌の見出し、主に小町体、装飾文字など）2つのタイプがある。

本研究、ひらがなとハングルのファミリータイプフェイスでは独創性、独自性を強く表現しようとした。ひらがなの柔かく美しく描いた曲線のストロークとハングルの強く頑なに見える直線のストロークの中から“筆文字”での共通性を見い出した。

### ■書体の共通エレメント（図1）



全く違う性格を有するひらがなとハングルの同一書体（ファミリータイプフェイス）開発は双方にとっても、審美性という観点からは完成度が低い。しかし双方にない性格のストロークを組み足すことにより、これまでのひらがなやハングルの“決められた形”から“外れた自由な線”的表現を試みようとした。

## 日本語のかな（ひらがな・カタカナ）

かなは古く中国大陆の文化を受け入れ、大陸文化に培った漢字を、日本語を書き表す文字として変成させることにより誕生した。ひらがなは漢字を崩して、カタカナは漢字の一部分を取り創られた文字である。

### 平仮名（漢字を崩して生まれた文字）

情語性に適し女性的である。漢字の起源は骨牙石金に彫られたもので、抵抗ある材質に切り込む硬い造形であるのに対し、平仮名は初めから紙の上毛筆でなぞるという軽くデリケートな造形である。記号として出発した片仮名は最もドライで発音記号それ自体のようであるが、平仮名はどんなに硬くデザインしてもその曲線そのものがムードを醸し出す。

平仮名の曲線的な姿は日本人の気質、文化・風土的因素に適合しているとも言える。

### 片仮名（漢字の一部を取り創られた文字）

平安時代当時の学問の方法が変化したことがきっかけで誕生した。漢字の本文を日本語で訓読することから、漢字の字画を省いて記す工夫が片仮名を生んだ。

本研究では、筆文字からヒントを得て「入り」の部分を強く、ひらがな本来の曲線を限られた角度の中で表現した。そして丸いストロークには筆文字の力具合をできるだけ表現しようとした。

## 韓国語のハングル

ハングルは李朝4代の世宗皇帝（1397-1450）により、1446年「\*訓民正音；フンミンジョンウム」という

す	い	う	え	お	か	き	く	た	こ
さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
な	に	ぬ	ね	の	よ	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り
る	れ	ろ	わ	を	ん	ぶ	ば	！	？

名前で公布された。

“大きい文字”つまり“偉大な文字”という意味のハングルは子音字14と母音字10の表音文字と同時に音素文字でもある。

そして言語音を音節単位でまとめて表記するため音節文字の性格も持ち合わせている。

中国から漢字文化の影響を受けてはいるがハングルと共にすることは現在はない。それぞれの子音字と母音字を組み合わせて、一見記号のように見える独特なストロークは、最も科学的でシステム全体も言語学的に見ても非常に精密で且つ合理的な文字である。

組み合わせ方は

- ◆ 子音 + 母音
- ◆ 子音 + 母音 + 子音
- ◆ 子音 + 母音 + 母音
- ◆ 子音 + 母音 + 子音 + 母音 等

その数はかぞえきれない。

文字を組む時、上下左右の場所によって大きさやバランスの調整が必要となる。

韓国ではハングルを非常に誇りに思っていて、今でも10月9日を「ハングルの日」として祝日している。

本研究では、ハングルの子音と母音を直線と曲線に分けたストロークで仕上げた。日本語のひらがなを柔かさの中で強いイメージで表現したのと比べ、ハングルは強

ハングル 子音字14+双子音5

ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ
[g]	[n]	[d]	[r]	[m]
ㅂ	ㅈ	ㅇ	ㅊ	ㅋ
[b]	[s]	[o]	[t]	[ch]
ㅍ	ㅌ	ㅎ	ㅎ	
[p]	[t]	[h]		
ㄲ	ㄸ	ㅃ	ㅆ	ㅉ
[kk]	[tt]	[pp]	[ss]	[ccch]

ハングル 母音字10 + 双母音字5

ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ
[a]	[ya]	[eo]	[yeo]	[o]
ㅜ	ㅡ	ㅣ		
[uo]	[eu]	[i]		
ㅔ	ㅖ	ㅚ	ㅟ	ㅚ
[e]	[ye]	[oe]	[wi]	[ei]

さの中で柔らかいイメージで表現し、ひらがな、ハングルの各々が楽しく、暖くそして強く柔らかいファミリータイプフェイスを目標にした。

※「訓民正音；フンミンジョンウム」

…民に訓くおしえる正しい音。

## タイポグラフィ typography

言葉、文字を用いてデザインすること。

TYPO = 活字 GRAPHY = 書くこと

この活字を組み合わせて読みやすくし、組み合わせた時、美的側面を備ることがタイポグラフィの生命である。

タイポグラフィは手による印刷物（新聞、雑誌、カタログ等）が主体でもある。

つまり、文字や言葉をグラフィックデザインすることで、伝えようとする内容やイメージ或はニュアンスまでをも包含した情報をよりわかりやすく正確に伝えることができる。

本研究、「あいさつことばのタイポグラフィ」ではひらがなとハングルのファミリータイプフェイスを基に、「いらっしゃい」「ありがとう」「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「すみません」の6つの基本的なあいさつことばを設定し、グラフィック化したものである。これにより、文化や習慣、環境という違いを超えたコミュニケーション手段の一助としてと共にひらがな及びハングルの世界での市場性拡大の可能性を探ってみた。

国際化が進み、母国語以外の言葉に触れる機会が多くなった現代、外国語の簡単な“あいさつことば”に親しむことはその国を知ったり、その国に対する親近感を深めていく上での第一歩となる。

「こんにちは」「ありがとう」…

挨拶から始まる一言二言、その短いことばを媒介としてその国をより一層近く、暖かく感じられるものである。

次の6つの“あいさつことば”を設定しタイポグラフィでコミュニケーションを計ることにした。

**Typeface** Korean HANGUL The "greeting words" in Family typeface of Japanese HIRAGANA & Korean HANGUL **Typeface** Korean HANGUL

가	감	관	김	꼭	내	넝	녕	는	도
동	드	파	람	려	를	말	며	면	미
발	방	봄	빙	얼	어	오	온	은	인
안	워	여	역	요	으	운	을	장	지
청	춘	콜	꼴	괴	하	한	해	혜	?

## あいさつことば

Welcome いらっしゃい

When you are meeting someone, for the first time.

Thank You ありがとう

When you are greeting someone, saying thankful.

Good morning おはよう

When you are greeting someone, saying meeting.

Hi! こんにちは

When you are greeting someone, saying meeting.

Good evening こんばんは

When you are greeting someone, saying meeting.

Sorry すみません

When you are greeting someone, saying apologizing.

で、文字或はストローク一つ一つを組み合わせた「あいさつことば」そのものが、完成されたタイポグラフィとして表現、表示出来るように制作に当たると同時に、機能軸では可読性を、イメージ軸では独自性を目標とした。

